

批判的言語教育国際シンポジウム
未来を創ることばの教育をめざして
2018年6月30日・7月1日

ソーシャルネットワーキングアプローチに
基づいた
内容重視の批判的言語教育の実践報告



ハーバード大学
ハント 蔭山 裕子

1

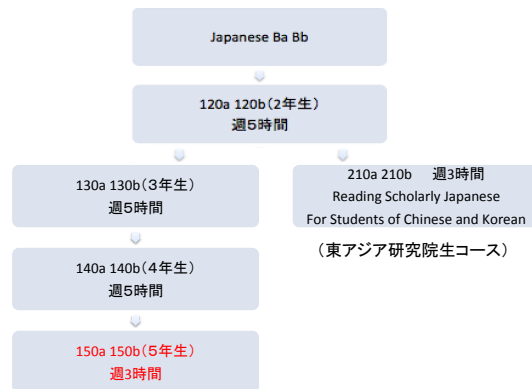
発表の流れ

1. CCBI実践対象コースの概要とCCBI・SNAの意義・課題
 - 学習目的・ニーズの多様性
 - 内容重視の批判的言語教育
 - ソーシャルネットワーキングアプローチ
2. 実践の概要
 - コースデザイン・「内容」選択
 - 授業活動
 - 学習者の読解タスク・発表・議論
3. 評価・考察・今後の課題



2

日本語コース
a: 秋学期 b: 春学期



3

Japanese 150a(秋)-150b(春) (5年生・最上級)
Readings and Discussion in Japanese Social Sciences
月水金 9:07-10:00 各学期14週間

社会一般、政治・経済、外交、歴史、倫理、心理学、法学等に関する幅広い分野の文献や文学を日本語で読み聞きし、その内容について考察し、自分の考えを口頭でも筆記でも場面に応じたスタイルを用い、主張できるようになる。読解・文章作成・聴解・会話の四技能において卓越レベルの日本語能力獲得を目指す。

週	月曜日	水曜日	金曜日
1	1/22-1/26 コース紹介 U7-1 名句を使う	U6-1 作文技術: 慣用表現 時事問題: 2018年の展望	U7-2 会話: 犯罪傾向から 現代社会を語る
2	1/30-2/2 U1 正義	U1 正義	U7-3 会話: マスコミの功罪について HW-U1 正義
3	2/5-2/9 U2-1 教育改革	U2-1 教育改革	映画『それでも僕はやっ ていない』 HW-U2-1 教育改革
4	2/12-2/16 U2-2 歴史教科書をどう考えるか HW-それでも僕は	U2-2 歴史教科書をどう考えるか	歴史教科書比較 時事問題

4

最上級日本語コース 受講者のデータ: 2015-2018

受講者数

- 各学期(秋、春) 受講者数 4~9名 ほとんどの受講者が通年受講
- 3年間の受講者数 23名
- 大学生 14名 大学院生 9名

受講者の専攻

東アジア研究、歴史、社会学、心理学、宗教、神学、経済学、物理学、言語学、工学、民俗学、政治学、比較文学、脳科学、宇宙科学、数学

受講目的

- 1) 将来の仕事(ビジネス、弁護士、教職、外交官など)につなげたい、
コース終了(大学卒業)後6名が日本で就職 1名がJET
- 2) 研究(歴史、宗教、茶道、文学)
- 3) 技能の習得(敬語、ビジネス日本語、アカデミックな日本語、慣用表現・諺、
抽象的な話題の議論、聴解力・会話力の向上)

5

時代が要求する言語能力を通じて社会に貢献する
人材の育成を目指す言語教育アプローチとは？

教育目標

- ◆ 上級学習者の多様な専門的ニーズに対応し、将来のキャリアにつなげる(野田 2014; 藤岡 2015)
- ◆ CCBI: 既存の枠組みを見直し、必要ならば変えていこうとする批判的(クリティカルな)意識・視点・姿勢・態度の育成(佐藤、高見、神吉、熊谷 2015)
- ◆ SNA: 言語の知識、文化能力、協働能力、問題解決能力、創造力、思考能力、異文化理解などの社会力と、テクノロジー、情報、メディアリテラシーで多様な人、モノ、社会、文化と「つながる」(當作 2013)
社会とつながる (佐藤・熊谷編 2011、西保・熊谷・佐藤・此枝 2016、トムソン木下編 2016)

6

CCBI & SNAの課題

1 内容とは？内容の選択基準は？

- 異分野融合・一つのテーマ？多種多様なテーマ・トピック？
- 学習者中心 教師の判断 教師の専門性・社会観
- 日本文化・社会への適応・同化が目的？日本語＝日本？
(高見・熊谷・佐藤・長谷川・森岡 2015)
- 内容学習と言語技能学習

2 クリティカル性・社会とのつながりを促進する活動とは？

- クリティカル度の評価は？
- 誰とどのようにつながる？社会参加の方法は？
- よりよい社会とは？

7

CCBI&SNA 学習内容・テーマ・トピック選択

- 多種多様な学習目的や関心を持つ学生の興味を引き得る。(アンケート調査)
- 学習者が批判的に検討・分析できる。
- グローバル性、実用性を有し、学生が実社会で頻りに遭遇し得る。
- 話題性を有し、メディアで頻りに扱われるため、速読や聴解の教材が得やすい。
参考資料:各新聞、現代語の基礎知識、日本の論点、政府省庁のウェブサイト等

秋学期	春学期
1. 現代社会とストレス テクノストレス	1. 正義(法律、男女差、貧富の格差、マスコミの功罪)
2. 人工知能	2. 大学改革、入試制度、職業教育
3. 憲法改正	3. 歴史の認識、歴史教科書
4. 国際関係・外交	4. 人身取引
5. 家族社会学、一億総活躍、働き方対策	5. 生命倫理(iPS細胞、再生医療、尊厳死)
6. ジェンダー学	6. 経済再生、経営論、デジタル化
7. 日本人の宗教観	7. 重なり合う宗教と文学

教材選択

150a(秋学期) 読解・議論 週2時間(月・水)x14週間

ユニット1. 社会学

現代社会とストレス

広がる人工知能 人工知能は人類を減ぼすか 松尾豊

ユニット2. 政治・行政・国際関係論・法学・歴史

政治用語

安倍総理大臣施政方針演説

日本国憲法改正草案

安保法施行

『堂々たる日本人ー知られざる岩倉使節団』

ユニット3. 家族社会学 家族をテーマにした現代人気作家の作品

安倍総理大臣施政方針演説<一億総活躍への挑戦>

日本の少子化・家族・政策

女装した家父長制

短編小説『ボート』

小説 『オーファーザー』

ユニット4. 書評・批評

ユニット5. 宗教

日本人はなぜ無宗教と言いたがるのか

日本人の宗教観 調査結果

松尾豊

自由民主党

朝日新聞

泉三郎

松田茂樹

上野千鶴子

吉本ばなな

伊坂幸太郎

阿満 利磨

読売新聞

9

150b(春学期) 読解・議論 週2時間(月・水)x14週間

ユニット1 法学、社会学、メディア論

正義

橋爪大三郎

ユニット2 教育学、歴史・外交問題

1. 国立大学改革 私が言いたかったこと

下村博文

2. 教育の大改革

佐藤優

3. 歴史教科書をどう考えるか

橋爪大三郎

4. 世界史の周辺におけるジェンダー

羽場久美子

ユニット3 倫理学、医学、心理学、社会学

1. 生命倫理 ヒトが人であるために

『最上級の日本語』

2. 科学の進歩は人を幸せにするか

稲盛和夫 山中伸弥

ユニット4 経済学、経営学、社会学

1. 英語公用化こそ日本再生のインフラだ

船橋洋一

2. ソニーの一人負け・デジタル化による破壊

大前研一

ユニット5 文学、宗教、世相、多様性

1. 重なり合う宗教と物語の力

島蘭進

2. 仲間

三島由紀夫

3. ローマンホリディ

石田衣良

10

150a 技能育成のユニット:週1時間(金曜日)x14週間

ユニット6. 会話ストラテジー(ビジネス・プロフェッショナル)

- 敬語の復習
- 電話の会話
- プレゼンテーション
- 説明
- 感情を表現する慣用表現

ユニット7. アカデミックライティング

- 論説文の構成
- 論文に使える便利表現
- 文末表現 動詞
- 助詞相当表現
- 接続詞
- 論文例
- 引用する
- 図表や統計を使う

映画・動画(読解教材のテーマとの関連)

映画: 日本国憲法 そして父になる

テレビ番組: 今日会社休みます その時歴史は動いた:岩倉使節団

動画: ライフバランス (TEDxTOKYO)

11

150b 技能育成のユニット:週1時間(金)x14週間

ユニット6 作文技術・ビジネス文書

- 慣用表現:身体に関連のある表現
- 慣用表現:社会的背景を持つ表現
- メールで確認する
- 稟議書
- 企画・提案書
- ビジネス文書例

ユニット7 会話ストラテジー

- 名句を使いこなそう:諺、四字熟語、慣用句(毎週約20の名句を習得)
- 犯罪傾向から現代社会を語ろう
- マスコミの功罪について討論しよう
- 交渉におけるあいまい表現
- 会議

映画・動画

映画: それでも僕はやっていない

テレビ番組: ゲノム解析 コウノドリ

動画: iPS細胞

12

CCBI&SNA ユニットの流れの例1
正義、マスコミの功罪

読解教材:『正義』 橋爪大一郎

公平とは 裁判 入試制度 男女の格差 貧富の格差

会話教材: 犯罪傾向から現代社会を語る

マスコミの功罪について

『超級への架け橋』

映画 :『それでも僕はやってない』(周防正行監督)



黒字:読解と議論 青字:会話 緑:作文技術 赤字:読解・映像 ピンク:宿題(HW)・期末論文

週		月曜日	水曜日	金曜日
1	1/22-1/26	コース紹介 U7-1 名句を使う	U6-1 作文技術:慣用表現	U7-2 会話:犯罪傾向から現代社会を語る
2	1/30-2/2	U1 正義	U1 正義	U7-3 会話: マスコミの功罪について HW-U1 正義
3	2/5-2/9	U2-1 教育改革	U2-1 教育改革	映画『それでも僕はやってない』 HW-U2-1 教育改革

13

CCBI&SNAに基づいたトピックと活動 秋学期

トピック	活動・タスク(プロジェクト)
1 人工知能、テクノロジー	人工知能シンポジウム:人工知能に関する各界(マイクロソフト、接客業、金融、食産業、音楽界、文学、介護など)の専門家の意見やデータを引用しながら、自分の意見や分析を述べる。
2 憲法改正、安保法、国際関係	国際学生会議:各国の代表として出席しているという設定で、日本国憲法改正などの日本と他国との国際関係問題に関して、問題点、並びに提言を述べる。
3 国際関係の歴史	ストーリーテリング:国内外の歴史上の人物を選び、その人物の視点から、歴史上のある出来事を修辞法や慣用表現を駆使してストーリーにまとめ、ストーリーテリングをする。
教室外のコミュニティーとつながる活動	
日本の移民政策	法務省の移民政策専門家による特別講義
憲法改正、集団自衛権、安保法	航空自衛隊員による特別講義
ロボット・人工知能開発	日本の大学院生(工学部)15名とのディスカッション テーマ:技術開発と社会生活・人工知能との共存共栄求められる倫理観

14

CCBI&SNAに基づいたトピックと活動 春学期

テーマ	活動・タスク(プロジェクト)
1 正義(裁判、男女差、貧富の格差、マスコミ・メディアの功罪等)	白熱教室:正義について日本の高校生に授業をする。
歴史の認識、歴史教科書	白熱教室:日本と他国との外交史上、非常に重要だったと思われる出来事についての授業をする。
日本の大学改革、人文系廃止、教員養成課程廃止、職業教育、G大学・L大学制度、入試制度	パネルセッション:日本から文部科学省大臣と関係者から日本の大学改革について助言を得るため招かれたと想定し、意見を述べる。
2 生命倫理、ゲノム解析、再生医療、クローン、尊厳死	国際学生科学シンポジウム:生命倫理と科学の進歩に関するテーマを一つ選び、図表や統計を使いながら現状について説明し、問題点を指摘する。
3 経済再生、経営論、起業	日本の経済再生戦略会議:新進経営コンサルタントとして経営再建を目指す企業や起業家を目指す日本の若者への提案をする。
教室外のコミュニティーとつながる活動	
日米関係	他大学の国際政治学者による特別講義
メディア:保守vs.リベラル	朝日新聞と産経新聞の記者による対談
大学と職業教育	日本からの大学生(約20名)との意見交換

15

CCBI&SNAに基づいた活動:読解

クリティカル性を重視した読解タスク例

ユニット「生命倫理」「科学の進歩は人を幸せにするか」読解宿題

以下の中から、3つの主張を選び、それに対して同意するか、反論するか述べ、その根拠を200~300字で説明して下さい。

1. 個人の遺伝子情報は、本人以外に管理させるべきではない。
2. 出生前診断により胎児に異常が見つかった場合、産む、産まないかは「産む性」である母親が決めるべきであり、その決定を法律で規制すべきではない。
3. 少なくとも日本においては出生前診断の発達が中絶の件数増加の要因になっている。
4. 「容姿も頭脳も優れた子供が欲しい」と願うのは親の当然の心情なので、各国はデザイナーベビーの技術開発にしのぎを削るべきだ。
5. 生殖技術の発達に伴い、「伝統的な家族」という概念が時代錯誤となるのはやむをえない。
6. 臓器移植や新薬開発などの医療目的のためには、クローン製造が不可欠である。
7. 積極的安楽死を合法化すべきである。
8. 医療は無条件に善である。
9. iPS細胞の技術を使ってブタの体内で人間の臓器を作るのは、倫理に反している。

16

学生Yの解答例

1.個人の遺伝子情報は、本人以外に管理させるべきではない。

反対である。遺伝子は人の個人的な情報であると言われているが、人は社会の構成員であるという側面も考慮すべきだ。遺伝子情報には疾患など社会で様々な役に立つ情報があるので政府が情報の管理に参加する方がよい。さらに、普通の人は遺伝子について専門知識がないので本人しか管理できないのは非効率的で、効果的ではないだろう。仮に専門知識がない人がある遺伝子疾患を持っていたとして、本人が自分でその疾患を見出して治療するのは現実的ではないというのだからだ。

もう少し個人情報という観念について述べる。大学や希望就職先に応募すると、身体の情報、性別、エスニシティ、社会保障番号などの個人情報を提供しなければならない。なお、病歴も含まれる。したがって、遺伝子情報は個人情報と病歴にいずれにも含まれるので、論理的に考えれば、未来には遺伝子情報を提供しなければならないだろう。

管理する規則が必要だというのは当然である。言うまでもなく、政府は完全に信頼できるわけではない。だが、個人の遺伝子情報管理を本人のみに依存するというのは将来非現実的になるだろう。

17

CCBI&SNAを目指した読解宿題

下記の命題(めいだい)(proposition)から一つ選び、正義の観点から意見を書いて下さい。

1) 罪の重さと裁定

東京・池袋の繁華街で平成26年6月、危険ドラッグを吸って車を運転し、運転中に歩道に突っ込み、しさん(当時30)を死亡させ、男女6人に重軽傷を負わせたとして、自動車運転処罰法違反(危険運転致死傷)の罪に問われたN被告(38)に東京地裁は1月15日、懲役(ちようえき)8年(求刑懲役10年)の判決を言い渡しました。弁護側は、危険ドラッグについて「味見のつもりで吸っただけだ。運転に支障が生じる恐れがあると予想していなかった」とし、危険運転致死傷罪には当たらないと主張していた。この裁定(判決)は公正で正義にかなっているでしょうか。

2) 入試の公正性

入試の公平性に関して日本の中央教育審議会は、1点刻みの試験だけに依存した入試が公平だという社会観念を断ち切らなければならないと言っています。加えて、公平性の代わりとなるのが「公正性」と指摘し、「年齢、性別、国籍、文化、障害の有無、地域の違い、家庭環境等の多様な背景を持つ一人ひとりが、高等学校までに積み上げてきた多様な力を、多様な方法で「公正」に評価し選抜するという意識に立たなければならない」としています。それでは、公正に選抜するためには、何をすべきでしょうか。

3) 男女差と最高裁判決:離婚後の女性再婚禁止期間6ヶ月は違憲

日本の民法733条は「女性は、離婚後6ヶ月を経過した後でなければ、再婚をすることができない。」としています。2015年12月16日、この民法の規定に対して、最高裁判所の判断が下り、100日間を超える部分は違憲だとしました。但し、男性には再婚禁止期間の規定はありません。この判決は公正でしょうか。

18

学生Cの解答例 パート1

この判決は決して正義にかなっていないと思います。実は、個人的に事件を調べてみたところ、**検察側の冒頭陳述では被告人が「危険薬物を吸って意識を失った経験あり」と友人に教えたいので紛れもなく危険運転致死傷罪で処罰を受けるべきだと考えます。**

弁護側は被告人の無罪を証明する為に歪んだ前提を利用しています。(犯罪の)意図は そもそも法廷では無罪か有罪を決めるべきではないと思います。意図は様々な心理的かつ環境的な要因に翻弄され、不安定で測りにくいものなので、主に人の実際の行動で訴えるのが裁判の基本です。人間は人間として複雑な事情がありますので意図は普段、行動と証拠が物語る罪の重さ(何年間量刑に追加、又は削減されるのか)を決めます。したがって、本来ならば「予想していなかった」かどうかは重要と考えられますが、この場合は事件以前の経緯に集中して頂きたいです。被告人は被害者を殺害する前に脱法ハーブを買いに行った訳です。味見であろうがなんであろうが、法律違反を犯したことは明らかです。タバコを吸って、意識を失い他人を死に至らせる事件はあまり聞いたことがありません。なぜならば、タバコの消費と危険運転事件はあまり関連性がないからです。しかしながら、もし危険性があったとしても、きちんとタバコの箱に書いてあるはず。他の合法薬物も消費者が危険性を確認できるように敢えて副作用を明確に示します。

学生Cの解答例:続き

利用された脱法ハーブは当時危険薬物ではなかったですが、脱法ハーブだからこそ、どの副作用が生じるのか当然分かりません。脱法ハーブによる意識障害の経験があったらしいですが、仮にこの事件の結果は全く予想外だったとしても、怪しい物質を消費した所為で人を傷つけたではないですか。7人の人が大変な目に遭い、そのうちの1人の女性が命まで奪われたのは被告人が勝手に罪を犯したからではないですか。「支障が生じる恐れがある」とは予想していなかった」というのは無責任な言い方なのではないかと思えます。被告人の悔しさと後悔は自分の為のもので、死亡者を蘇らせられませんか。償いとしても不十分だと思います。無論、被告人は殺意を持ったと思わないし、人が命を奪われるのも全く考えなかったと思えます。ですが、それは言い訳にならないのです。覚えていなくても、自分がやったこと責任を担う必要があると思えます。仮に意識障害の経験がなかったとしても、**罪を犯して、精神状態を変える薬物を敢えて吸った訳なので危険運転致死傷罪に該当するべきだと思います。**被告人は意識喪失の可能性がたと知っていたので、さらに厳しい処罰を受けるべきであるという理由から、この事件の判決は全く正義にかなっていないと主張したいです。

CCBI & CCBI 実践例 経済学、経営学、社会学

目標: ビジネス会議での交渉術を身につける。

読解: 英語公用化こそ日本再生のインフラだ 船橋洋一

『文藝春秋 2016年の論点』
どこまでも続くソニーの一人負け 大前研一

『日本の論点』

会話: 交渉における曖昧な表現、戦略会議

ライティング: ビジネス文書(稟議書、企画提案書、社内文書)

活動: 経済再生戦略会議 (原稿提出、発表/会議)

日本の経済産業省が主催する「日本の経済再生戦略会議」に出席し、新進経営コンサルタントとして経営再建を目指す起業家や起業家を目指す日本の若者への提案をすることになったと想定して下さい。以下のリストから提言をする相手を選び、図表や統計を使いながら、会社再建方法、グローバル化、英語公用化、新商品や新しいアプリの開発、起業などの具体案を示さない。

提言相手: ソニー 東芝 シャープ 日本マクドナルド 任天堂
日本の若者(高校生、大学生)

- 1) 原稿は「だ・である体」で800~1000字程度。発表は6分程度。
- 2) 消費者動向や成功した起業例などを統計・図表を使って説明すること。
- 3) 説得力を増すために、**諺や四字熟語を効果的に使う**こと。

経営再生戦略会議: 提言相手と内容

A	ファーストリテーリング: ユニクロのグローバル戦略	C	ソニー: モバゲ市場
K	マクドナルド: 和食ブームとフライド湯葉	L	大学生: 技術開発を屋台骨に
Q	マクドナルド: ホスピタリティーとアプリ戦略	R	マクドナルド: 創造性豊かな期間 限定商品とSNS作戦
Y	高校生: ソーシャルメディアの活用とコーポレートガバナンス		



戦略会議



個人発表: 各企業への提言
↓
クラス全体で質疑
(ビジネス場面を想定した会議)
↓
優秀な提言に投票

反対意見の表明

- ・ 疑問視しております。
～は一理ありますが、～
- ・ ～することはいかかと思えます。
- ・ 異を唱えるようで恐縮ですが、～。

反対意見に対する反論

- ・ ○○さんの述べた(反対意見)はかなり説得力があり、これに対して特に反対致しません。しかし、私が主張したいことは～～。

CCBI&SNA ピア評価例

1. Critiqueitでコースサイトにアップロードした各学生の発表に音声・文字・映像でコメントを載せる。
2. お互いの発表を採点する。

国際学生会議 (10月21日)

評価者: _____

発表者	内容	プレゼン力 視線・流暢さ	内容の 明確さ	説得力	総合点
1 Y	日本は歴史について謝罪すべきだ	/5	/5	/5	/15 点
2 A	アフリカ諸国に対する援助	/5	/5	/5	/15 点
3 C	慰安婦問題	/5	/5	/5	/15 点
4 Q	憲法改正より何が大切なのか	/5	/5	/5	/15 点
5 H	安保法案と日中関係: 東南アジアの視点から	/5	/5	/5	/15 点
6 K	北朝鮮を巡る諸問題	/5	/5	/5	/15 点
7 Z	自衛隊南スーダン派遣から見る国連 ミッションの利害とPKOの真実 (日本国代表として)	/5	/5	/5	/15 点

最優秀賞は _____ さんです。

会話能力アセスメント: 議論

議題:

1) 正義の定義として「同じものは同じように、異なるものは異なるように扱う」という考え方がありますが、男女の違いや所得の格差の点から、この定義は妥当だと思いますか。

2) 米大統領選挙や現在のアメリカの政治状況に関するマスコミの功罪について意見を述べて下さい。(フェイクニュースなどを例にあげる)

3) 日本の大学のグローバル化を推進し、世界の大学としのぎを削れるようなレベルに向上するためには、どうすればいいでしょうか。

4) これからの日本の歴史教育はどうあるべきだと思いますか。例えば、内外の政府(国家権力)の教科書編集への関与やジェンダー史の点から意見を述べて下さい。

評価:

学習した語彙・表現・内容を正確に、かつ効果的に使ったか。
参加者の意見に対して、尊重、肯定、または反論できたか。

使用推奨表現:

ユニット1「正義」ユニット2「国立大学改革」「歴史教科書」「女性史・ジェンダー史の成果と教科書」7-2「犯罪傾向」、7-3「マスコミの功罪」で学んだ表現・語彙・用語を積極的に使うこと。

ユニット6-1「体に関連のある慣用表現」7-1「名句」で学んだ表現を三つ以上効果的に使用すること。

25

正義とマスコミの功罪: 議論 米大統領選挙や現在のアメリカの政治状況に関するマスコミの功罪について意見を述べて下さい。

聞く耳を持たない

砂上の楼閣

売り言葉に買い言葉



Criteria	Ratings	Pts
正確な表現で意見を明確に伝えたか	Full Marks 15.0 pts No Marks 0.0 pts	15.0 pts
推奨表現を含めた多様な表現を効果的に使ったか	Full Marks 20.0 pts No Marks 0.0 pts	20.0 pts
発音の正確さと流暢さ	Full Marks 5.0 pts No Marks 0.0 pts	5.0 pts
参加者の意見に対して、尊重、肯定、または反論できたか	Full Marks 10.0 pts No Marks 0.0 pts	10.0 pts
Total Points:		50.0

学生の評価

Course Overall	100%	4	5.0
Materials	100%	4	5.0
Assignments	100%	4	5.0

Excellent selection of materials that covered a wide range of topics, relevant to both current issues, the acquisition of the language, and the pursuit of knowledge. Availability of teachers and the open discussion environment was welcoming and conducive to learning language in a more natural context.

This course used almost exclusively native-level materials, and encouraged in-depth discussion and writing in Japanese. I really appreciated the chance to form and express personal reactions to the material, and that it was treated as impactful and important rather than merely a pedagogical tool. Both Kageyama-sensei and Miura-sensei were extremely accessible, and were always willing to meet outside of class, as well as encouraging direct dialogue between class participants. I appreciated the emphasis on writing, and on developing a more robust set of expressive forms.

27

改善点・今後の課題

学生主導の自由なディスカッション→議論の時間・回数増加

I think that a greater focus on discussion without prompting or specific questions to answer constantly would be a fantastic route to take. All of the other students in the class have a lot of interesting ideas and takes on the readings that we do, and it would be nice to have more of a student led discussion environment--that ISN'T set up as a debate.

文法の説明、慣用表現→慣用表現のユニット追加

I would have liked to have learned more grammatical structures that may have not been in the course packet. For instance, I really enjoyed the idioms we learned and would have loved to have seen more over the course of the semester as some readings had very few new grammar points.

小テストや試験→会話能力アセスメント(議論、面接)の実施

This is strange to say, but I almost wish we had quizzes and exams in fifth year Japanese. Sometimes I know I didn't put in as much effort as I should've, and having regular assessment will motivate me to study the materials harder and to reach for an even higher level in Japanese.

社会科学以外の人文系向けの日本語の必要性→文学のユニットの時間数増加

I don't know how feasible this is, but I would appreciate if there were multiple options for fifth-year Japanese: that is, currently, it is only social sciences, but for those of us in the humanities, for example, it doesn't feel terribly useful to be focusing all my energy on becoming proficient in talking about politics, for example.

- メディア、テクノロジーの効果的な使用によるさらなるコミュニティーとのつながり
- クリティカル度、内容習得度の評価

28

学生の評価

Course Overall	100%	4	5.0
Materials	100% <td>4 <td>5.0</td> </td>	4 <td>5.0</td>	5.0
Assignments	100% <td>4 <td>5.0</td> </td>	4 <td>5.0</td>	5.0

The course has been an energetic romp through complex but very interesting themes in contemporary Japan. The ability to develop presentations based on our individual interest is also most welcome.

The variety in course readings really kept me engaged this semester. I also like how we read a scholarly article in addition to literature and newspaper articles. It really made me feel like I have improved in reading over the years.

The writing assignments that allowed for greater creativity were absolutely amazing, largely due to the fact that they were less restrictive than previous years. It's nice to be taken more seriously as a writer and not have to have everything be childishly clear in terms of meaning.

参考文献

- 佐藤慎司・高見智子・神吉宇一・熊谷由理編(2015)『未来を創ることばの教育をめざして: 内容重視の批判的言語教育』ココ出版
- 佐藤慎司・熊谷由理編(2011)『社会参加をめざす日本語教育—社会に関わる、つながる、働きかける』ひつじ書房
- 當作靖彦(2013)「日本語教育のソーシャルネットワークアプローチ—日本語能力、つながる力、社会力、21世紀のスキルを伸ばす」『日本語教育研究』第27輯 pp.7-10
- トムソン木下千尋編(2016)『人とつながり、世界とつながる日本語教育』くろしお出版
- 西俣美由紀・熊谷由理・佐藤慎司・此枝恵子(2016)『日本語で世界とつながろう』ココ出版
- 野田真理(2014)「アメリカの高等教育機関における日本語教育」『アメリカにおける日本語教育の過去・現在・未来』American Association of Teachers of Japanese、http://www.aatj.org/resources/publications/book/HigherEd_Noda.pdf
- 藤岡典子(2015)「学習者の専門分野を合わせた日本語教育」『アメリカにおける日本語教育の過去・現在・未来』American Association of Teachers of Japanese、http://www.aatj.org/resources/publications/book/ProfDevelopment_Fujioka.pdf
- Douglas, Masako O (2017) Assessing the Effectiveness of Content-Based Language Instruction (CBLI) in Japanese at the College Advanced Level. *Journal of the American Association of Teachers of Japanese* Volume 59 Number 2:199-240.

30